



経験
プラス
刷新力



ひもの通信 2020年 納涼号

充実!!

石川の「福祉」
「スポーツ・教育・国際交流」
「安心・安全・医療」

石川県議会議員

ひもの
義昭よしあき

「新しい生活様式」の時代を迎えて今
ふるさと「石川・金沢」の発展に向けて
もっと本気で!



旧知の橋本聖子五輪担当大臣をお迎えして

日頃より皆さんからご厚情を賜り、本当にありがとうございます。

さて、年初からの世界的な新型コロナ禍により、日本での感染者はすでに4万人を超え、死者も1,040人(8月5日現在)までに達しました。亡くなられた方々には心からのお悔やみを申し上げ、感染した皆さんにもお見舞い申し上げます。また、これまで最前線に対応してこられた医療従事者の方々には深甚なる敬意を表します。初当選以来「皆さまに喜んでいただける仕事を力一杯すること!!」を肝に銘じながら頑張ってきました。これからも「経験プラス刷新力」という言葉を胸に刻みながら、元気なふるさとを実現するために石川の「福祉」「スポーツ・教育・国際交流」「安心・安全・医療」の3つの充実を目指して、全力で取り組んでまいります。

石川県議会議員

ひもの義昭

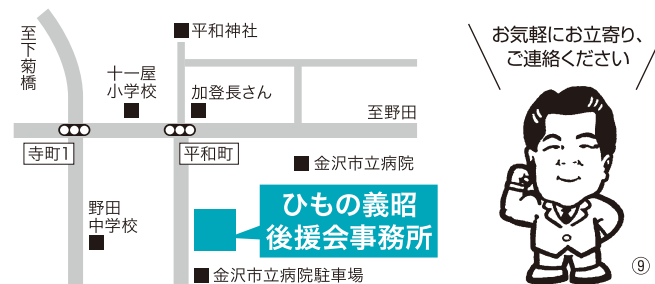
プロフィール

昭和30年9月9日金沢市内で生まれる。現在64歳。
地元の市立十一屋小学校、野田中学校、そして県立金沢泉丘高等学校に学ぶ。

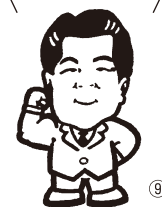
子どもの頃より、地域や団体のお世話や政治に関心が深かった父親の影響を受け、政治家を目指す。早稲田大学政経学部に進学、卒業後、森喜朗代議士の秘書となり、地方議員の役割、責務等を学ぶ。「青年の政治参加」と「地域の発展」をスローガンに、昭和58年金沢市議会議員選挙に出馬、最年少記録27歳での初当選。平成3年石川県議会議員に初当選、以来、連続8期。家族は妻と次男そして父親の4人家族。(長男夫婦独立)
平成20年、第89代石川県議会議長に就任。これまでに、議会運営委員会委員長、石川県監査委員、自民党石川県連では副会長、幹事長、総務会長、政調会長、青年局長などを歴任。

現在のおもな役職

- 石川県都市計画審議会委員
- 石川県障害者スポーツ協会 会長
- 石川県体育協会理事
- 石川県ラグビーフットボール協会会長
- 金沢日曜野球連盟顧問
- 石川県観光産業振興議員連盟会長
- 石川県音楽文化協会常任理事
- 石川県薬剤師連盟顧問
- 日本保育協会石川県支部・日本保育推進連盟顧問
- 石川県釣り団体協議会顧問
- 自衛隊金沢駐屯地協力会副会長 (事務局長)



お気軽にお立ち寄り、
ご連絡ください



ひもの義昭 後援会事務所

〒921-8105 金沢市平和町 3-3-24

☎ 076-241-7744

【FAX】076-241-4764 ☑ info@himono-yoshiaki.jp

f https://www.facebook.com/himono-yoshiaki

ホームページはコチラから▶ ひもの義昭 | 検索

ひもの義昭の
詳しい情報満載!
ぜひご覧ください。

ひもの義昭は主張します

誰よりも多く、本会議場で質問に立ってきました。

1. 福祉の充実

- ★金沢市内の新しい交通ネットワークの構築による高齢者、障害者にやさしい街づくりを推進
- ★学童保育、結婚支援など総合的な子育て支援、少子化対策の充実
- ★難病患者支援や障害者の雇用促進などやさしい社会体制づくりを推進
- ★精神障害者生活基盤の改善
- ★発達障害者(児)支援策の充実・拡大



2. スポーツ・教育・国際交流の充実

- ★スポーツの振興や競技力向上、武道館建設などの施設整備を推進
- ★障害者や高齢者が気軽にスポーツを楽しめる環境づくりの推進
- ★建学の精神を尊重した私立幼稚園・学校・専修各種学校への支援策の充実
- ★栄養教諭、職員の活用による「地産地消」「食育」の充実
- ★生命尊重教育の実践



3. 安心・安全・医療の充実

- ★国民病であるガン予防対策の充実
- ★医師・看護職員・薬剤師の不足解消施策の充実
- ★タバコの煙から子どもや高齢者を守る施策の充実
- ★かかりつけ薬局、医薬分業の確立による県民の健康保持施策の充実
- ★新型コロナウイルスなど感染症対策
- ★子どもや障害者の医療費の助成制度の充実・拡大



鼠多門・
鼠多門橋完成



金沢城の西側、黒い海鼠漆喰が特徴の「鼠多門」と、城内最大規模の木橋「鼠多門橋」が、明治期に失われて以来約140年ぶりに復元整備され、往時の姿が甦りました。完成に伴い、長町武家屋敷跡から尾山神社、金沢城、兼六園そして本多の森公園、国立工芸館へ続く新しい観光ルート「加賀百万石回遊ルート」が誕生しました。



日釣振北陸支部、県釣具組合の皆さんと意見交換(金沢クロダイ釣り大会)



恒例の大桑団地町会のもちつき大会



金沢・南砺ゆかりの集いにて



横綱白鵬関と(妻、次男と共に)

友の会の主な行事

- トロピカーナビアパーティ(毎年7月)
- ひもの義昭映画会(年2回、6月、11月)
- ボウリング大会(毎年11月)

その他にも、
いろんな行事と活動を
しています。



ひもの義昭トロピカーナビアパーティ



ビアパーティのビール早飲み大会



ボウリング大会の始球式(結果はガター)



毎回参加いただいている強豪チームの早遊メイトの皆さん



馳代議員、日本水泳連盟の坂元専務理事との懇談

これまで県議会議員として 8期 29年間、本会議場では 90回以上質問に立ち、知事をはじめ執行部に提案、実行を求めました。これからも変わらず皆様の生のお声を必ず伝えていきます。

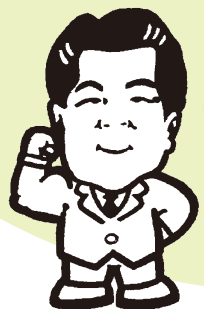


ぜひ、県議会にも
見学にお越しください。
私が直接で説明いたします。
お問い合わせはひもの事務所まで。



予算委員会で質問戦に登壇

【TEL】076-241-7744



頻発する自然災害を受け、石川県議会でも防災、減災に積極的に取り組む必要がありますが、残念ながら、ふだんから議論し対策を考える専門の委員会はありませんでした。

選挙公約を果たせました!!

「災害・県土強靱化対策特別委員会」が設置されました。

新しい海の玄関口

金沢港 クルーズターミナルがオープン!!



どの席からも海を見渡せ、ゆっくりくつろげるレストランコーナー



港内を見渡せる絶好のロケーション、多目的セミナールーム



ライトアップされたターミナル

金沢港ではクルーズ船の寄港数が北陸新幹線金沢開業を追い風に急増、取扱貨物量も二年連続で過去最高を更新し日本海側の物流拠点として発展を続けています。こうした金沢港を取り巻く大きな環境変化の中、金沢港機能強化整備の一環として、急増するクルーズ船の乗客の利便性向上を図るため、整備されました。

1F

CIQや待合エリアを備え
まさに海辺の玄関口となる
フロアです

- ① CIQエリア
- ② 待合エリア
- ③ 自販機コーナー
- ④ ターミナル事務室
- ⑤ 観光案内

2F

体験、食事、眺望などが
楽しめる多彩なフロアです

- ① 展望デッキ
- ② レストラン(海の食堂Bay Arce)
- ③ セミナールーム
- ④ 金沢港まなび体験ルーム
- ⑤ 会議室1
- ⑥ 会議室2



これまでのコロナ対策について聞く!

初動対応は間違っていたのか?
4月19日から急速な拡大が進んでいた。しかし、初動対応は十分でなかったから、その後の感染が広がったのではないのか?
健康福祉部長
院内に感染が蔓延していることが判明した時点で、直ちに厚生労働省にクラスター対策班の派遣を要請。
ゾーニングは完了していたのか?
本当にゾーニングが完了していたのかは疑わしい。県は確認できていなかったのでは?
健康福祉部長
国のクラスター対策班の指導等を踏まえ、感染拡大の防止を図るよう指導し、ゾーニングについては病院からの報告から確認。
2度目のクラスター対策班からの同じ指摘内容を見ると、本当にゾーニング自体できていたのかは甚だ疑問。
石川県の担当者が「ゾーニング後に感染が拡大した可能性は否定できない」と対応の限界を認めた」と全国ニュースで流れていたが、その意味は?

一ツ屋病院での院内感染の対応について
健康福祉部長
防護具など物品を介した感染予防対策が徹底できていなかったことにより、ゾーニング後にも院内で感染拡大した可能性を否定できないと認めた。
健康福祉部長
介護療養病棟では当初48床に対して14人いた看護師が感染や濃厚接触により最終的には1人しかいなくなつたなど、まさにここで医療崩壊が起きていた。
転院への対応が遅すぎた。
他の病院の感染病床などへの感染患者の転院はなぜ遅れたのか?
健康福祉部長
もともと基礎疾患がある、介助の必要度が高いなど、個々の患者の状況に対応できる病院に転院する必要がある、最終的には5月20日に転院が完了。
5月10日頃は国では出口戦略を考えた時期であり、緊急事態宣言を解除するためには感染病床の使用率が低くなくてはならなかった。急遽の協力病床63床の上積みにより特定警戒都道府県の解除が決まるまで、転院を先送りしていたと考えておかしくはない。

新型コロナウイルス関連については、日常生活で不安に感じることや事業・個人への支援制度などを含め、わからないことはなんでも、右記へお問い合わせください。もちろん私に直接ご相談いただいても結構です。宜しく申し上げます。

石川県

石川県事業者支援ワンストップコールセンター
【E-mail】onestop@pref.ishikawa.lg.jp
【電話】076-225-1920

金沢市

金沢市保健所 地域保健課
【E-mail】tikiho@city.kanazawa.lg.jp
【電話】076-234-5102 【FAX】076-234-5104

必要な感染症病床は確保できていたのか?

受け入れ病床数

当初「500床以上確保」と知事が議会で答弁をしていたが、実際にはなかった?

健康福祉部長
新型インフルエンザに係る行動計画における病床確保を参考にして、県内医療機関に病床の確保を依頼、確保できた170床を厚労省に報告。

170床では医療崩壊のおそれがあり、そこに特定警戒都道府県の解除の問題が重なって急遽63床を上積みして感染病床の使用率を5割以下にしたことが国会議員の話からも分かる。

情報公開

なぜ感染者を受け入れる医療機関名を具体的にしないのか?

健康福祉部長
感染者を受け入れる医療機関の名称や病床数は、風評被害や偏見、差別の対象となるなど混乱を招くおそれがあり、各医療機関の御意向も尊重して公表していない。

感染病床の出口戦略

第2波に備えた病床確保計画が必要になっている。

谷本知事
医療機関や医師会など関係者と協議して、感染拡大の状況に応じた感染病床確保計画を策定していく。

石川県の感染病床数233床では、第2波における入院想定数に対する病床確保率では北陸3県では一番下。
(要望)常に医療崩壊の懸念があるとコロナ禍で証明された。国が公的病院に常備の感染症専用病床を整備すべきであり、知事には全国知事会等でのリーダーシップを期待したい。

令和2年第1回定例会

予算委員会質問

令和2年3月13日

知事公舎を県民に開放せよ!!

知事公舎の年間維持費と補修費は

吉住総務部長
2670万円と年間平均120万円。

知事公舎には誰も住んでいないし、災害対応にも使われていないのでは

吉住総務部長
年間に20回程度、緊急ではない会議などや面談等が行われている。

観光的価値も高い。一般公開するなど、さらに有効活用を考えるべきでは

谷本知事
災害発生時の初動拠点であり、私が知事の間はこの態勢で間違いないようにする。

令和2年第3回定例会

予算委員会質問

令和2年6月24日

感染症対策には危機感と積極的な対応が重要!!
一ツ屋病院では86人が感染、21人が亡くなり、尋常なことではない?

当初議会に引き続き予算委員会に立ち、知事、健康福祉部長にコロナ対策を巡り疑問を呈した。第1波が落ち着いた今こそ、第2波に備えて、これまでのコロナ対策を検証する必要があります。存在しなかった500床をあると言い、3月の本会議では知事に做つて執行部は誰ひとりマスクをしていないなど、知事はどこか人任せだった。今でも谷本知事の数々の発言に対する抗議のコメントや「昔来て今は来るなコロナ」と知事叫ぶ」こんな川柳がネット上には流れています。知事を選んだ石川県民に疑問符がつかないよう、完全終息まで油断なく頑張ってもらいたいと考えます。